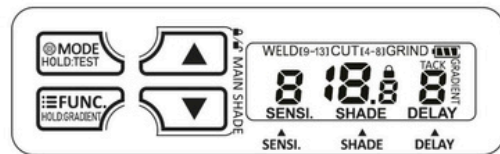


(図1)



(図2)

技術仕様

液晶パネルサイズ	110 x 90 x 9 mm
視野寸法	100 x 53 mm
CE 分類 (ISO 16321-2)	W3/4-8/9-13 V2
ツールカラー	はい
センサー	4
遮光度可変範囲	3 / 4 - 8 / 9 - 13
研削モード	あり (遮光度3)
感度	調整可能
復帰速度	0.04~2.0秒
動作温度	-10°C ~ +60°C
保管温度	-20°C ~ +70°C
電池	交換可能、CR2032

取扱説明

ご使用前に

- 追加の保護フィルムを必ず取り除いてください
- センサーに汚れやほこりが付いていないことを確認してください
- 必要なモードに設定します

テスト機能

- 「MODE」ボタンを長押しすると、ADFがセルフテストを開始します
- 電池を挿入するとADFはセルフテストを行います

バッテリー (図1)

自動遮光フィルターは、交換可能な CR2032電池で動作します。ディスプレイ上の電池アイコンが点滅する場合は、フィルターが正常に機能するように電池を交換してください。

使用方法 (図2)

自動遮光フィルターには、「溶接」、「切断」、「研削」の3つの動作モードがあります。「MODE」ボタンを押して、作業内容に応じて適切な動作モードを選択します。



-作業内容やレーザー溶接の種類に応じて、遮光度を調整します。「FUNC.」ボタンを押して「SHADE」オプションを選択し、上/下矢印を押して作業内容に応じて遮光度数値を選択します。遮光度は、「WELD(溶接)」モードでは4~8、「CUT(切断)」モードでは9~13の範囲で変化します。選択した遮光度数値は画面に表示されます。

-レーザー溶接の光強度に応じて感度「SENSES」を調整します。「FUNC.」ボタンを押して「SENSES」オプションを選択し、上/下矢印を押して光感度を変更します。

6つの感度レベルが設定可能です:

レベル1: 光感度が低下します。

レベル6: 光感度が高くなります。

-「DELAY(復帰時間)」を調整して、レーザー溶接の中断後に暗い状態から明るい状態に移行するまでの復帰時間を設定します。「FUNC.」ボタンを押して「DELAY」オプションを選択し、上/下矢印を押して、溶接後にADFが明るくなる時間を2秒~0.1秒の範囲で設定できます。選択したレベルは画面から読み取ることができます。

レベル1: 溶接後にレンズが明るくなるまでの時間が短くなります。最短時間は約0.04秒です。

レベル9: 溶接後にレンズが明るくなる時間が長くなります。最長で約2秒です。

レベル0: タック溶接向け。このモードでは、自動暗色化フィルターは溶接終了時に暗い状態からシールド5に切り替わります。2秒間操作がないと、フィルターは明るい状態のシールド3に切り替わります。

-「GRIND(研削)」モードはレーザー溶接保護には適していません。

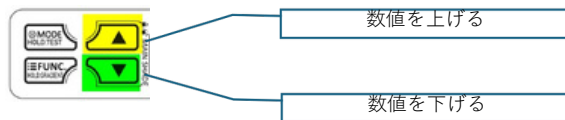
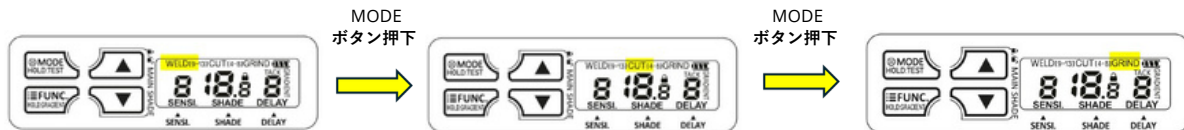
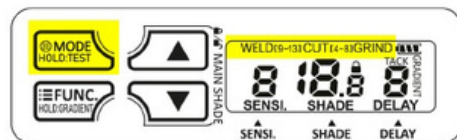
トラブルシューティング

不具合内容	原因	解決策
フィルターが反応しない	電池が切れているか、正しく装着されていない	電池残量を確認し、必要に応じて交換してください
	フロントカバープレートが汚れているか破損している	フロントカバープレートを清掃または交換する
	センサーが汚れている/遮られているか、ソーラーパネルが遮られている	センサーやソーラーパネルの表面を清掃する 作業中に遮るものがないか確認する
	感度が低すぎるか、復帰時間が短すぎる	適切なレベルに調整する
	遮光度の設定が適切でない	「GRIND (研削)」モードではないことを確認する
溶接していないのにフィルターが暗くなる	感度設定が高すぎる	感度を適切なレベルに調整する
溶接終了後もフィルターが暗いままになる	復帰時間が長すぎる	復帰時間を適切なレベルに調整する
反応が遅い	周辺温度が低すぎる	-10°C以下の温度では使用しないでください

ADF設定手順

MODEボタン

溶接、切断、研削の3モードが設定可能



ADF設定手順

FUNC. ボタン

SENSI(感度)、SHADE(遮光度)、DELAY(復帰時間)
の設定が可能

